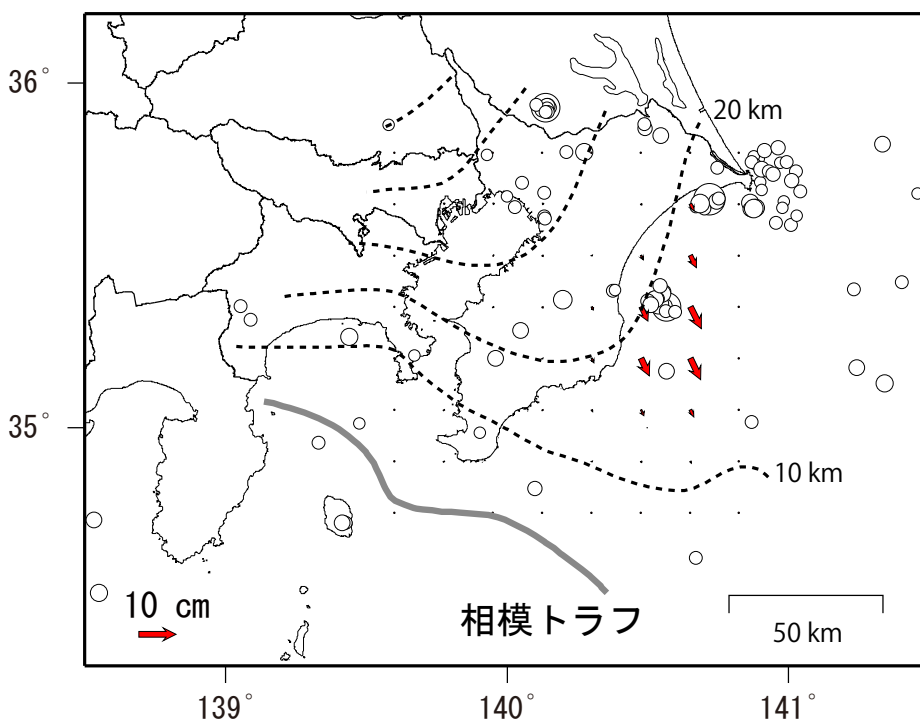


推定されたプレート境界面上の滑り分布(暫定)

房総半島沖合のフィリピン海プレートと陸側プレートの境界で最大約6cmの滑りが推定された

期間：2013/12/14-2014/1/6



赤矢印は陸側のプレートのフィリピン海プレートに対する動きを示す。
 推定マグニチュードは、Mw6.3(剛性率33GPa)。
 黒点線はフィリピン海プレート上面の等深線を示す。
 ○は50km以浅、M>2の気象庁一元化震源。

房総半島沖におけるプレート境界のゆっくり滑り(スロースリップ)現象の発生履歴(1996年以降)

